

## References

- Awasthi, D.D. 1976. Lichen genus *Parmelia* in India. I. Subgenera *Parmelia* and *Amphigymnia*. Biol. Mem., Lichen series 1: 155-229. Hale, M.E., Jr. 1965. A monograph of *Parmelia* subgenus *Amphigymnia*. Contr. U.S. Nat. Herb. 36: 193-358. Kashiwadani, H. 1975. Enumeration of *Anaptychia* and *Parmelia* of Papua New Guinea. In Otani, Y. (ed.): Reports on the cryptogams in Papua New Guinea 75-85. Kurokawa, S. 1979. Enumeration of species of *Parmelia* in Papua New Guinea. In Kurokawa, S. (ed.): Studies on cryptogams of Papua New Guinea 125-148.

\* \* \* \*

*Parmelia saccatiloba* Tayl. は現在までに、ニューギニアを含む南太平洋とインドから報告されていて、どちらかといえば珍しい種とされてきた。ニューギニアからの報告の基礎となった標本 (Kashiwadani 11637) はやや貧弱であり、しかも本種には通常見られない葉縁のシリアがあるので、疑問の残るものであった。ニューギニアでの採集品を整理してみると、Kashiwadani 11637 と同一種とみなされるものが同島にはかなり広く分布している。*P. saccatiloba* では決してシリアが形成されないのに対して、これらのものではやや疎らではあるが必ずシリアが形成されるので、別種 *P. kaisenikiana* として記載した。このため、ニューギニアは *P. saccatiloba* の分布域から除かれてしまいが、同種は南太平洋、インドのほか、台湾、シンガポール、オーストラリア東北部にも分布することを明らかにした。

□ Hofmann, A. (Transl. by Jonathan, O.): **LSD, my problem child... Reflections on sacred drugs, mysticism and science** 269pp. 1983. J.P. Tarcher, Los Angeles. \$7.70. 本書には著者自身の LSD (Lyserg Säure Diethylamid) に関する発見の経過、LSD の作用、またこれに関係する友人、知人等のことなどを記している。その細目は次の通りである。LSD の発見；LSD に関する動物実験と生物学的研究；LSD の化学変化；精神医学上の LSD の利用；治療薬より酩酊薬へ；メキシコと LSD との関係；Ernst Jünger の栄光；Aldous Huxley との会合；詩人で内科医である Walter Vogt との交友；多くの訪問客；LSD 体験と現実；附記。なお、次の書は本書の原本よりの日本語訳である。ホッフマン A. 著、福屋武人監訳：幻想世界への旅 267 pp., 17 fig. 1984. 新耀社出版。¥1800. (小林義雄)